

企業名：帝人

---

レポート名：統合報告書 2021

---

### 1. この会社が目指す姿が理解できるか

この統合報告書には、帝人が目指す長期的なビジョンがしっかりと記述されている。中期的な経営計画を立て、目の前の課題に向けた経営戦略を打ち出して、成長基盤の確立を目指していることが書かれていたが、それだけでなく、持続可能な社会の実現に貢献する企業を目標としていることがわかった。さらに、それら両方のビジョンを実現するためのロードマップを具体的に示している。よって、化学によってより良い社会をつくろうとする姿勢が窺える。

### 2. この会社の競争優位性が理解できるか

この企業の沿革とともに、現在取り組んでいる事業について書かれており、ここ数年の経営成績も記されている。他の企業との差別化というよりも、社会への貢献を第一の目的としているため、一見競争優位かどうかわからないが、プレゼンスの確立と高付加価値による競争力強化、およびシェアと収益性の拡大のための具体的な方針を示すとともに、その先を見据えるかたちで未来の社会のサステナビリティのためのイノベーションを増進することに繋げようとしているため、環境配慮へのニーズが高まるこの時代においては同社の競争優位が確認できる。

### 3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

同社は国内外問わずさまざまな声に対応した取り組みを実施しており、日本だけでなく世界全体の未来の社会をよりよくするという理念を本報告書から読み取ることができた。SDGsを中心とした環境に優しく持続可能な社会の実現への動きが活発化していく中で、その社会的プレゼンスが確立するとともに、製品に対する需要も増加することが見込まれるため、同社の競争優位は今後も持続する可能性が十分高いことが確認される。

### 4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

同社は、持続可能な社会実現への貢献のみならず、社員とともに会社が成長していくことも一つの理念としている。自身の興味関心などがこの会社の事業分野と合致するか否かはひとまず置いておくとすれば、未来の社会を支える会社を目指し、社員一人ひとりを互いに尊重し多様性を認め合う同社において、自身の人的資本価値は向上されると思う。

## 5. 報告書にはどのような改善余地があるか

統合報告書の完成形がわからないので、本書が理想とされる統合報告書に近いのか否かは判断できないが、他の企業よりも自社が優れているということをもっと全面的に出していくことで、この会社にしかない魅力がより一層効果的に伝わると思う。